



1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする大地震により、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

農業科 年末恒例！寄せ植え製作・販売！



12月15・18日に、農業科の生徒による年末恒例の寄せ植えの製作を行いました。今年は、様々な影響から原材料が高価になったり、入手に時間がかかったりなどで、一時は実施できるかどうか心配されました。農業科の生徒が「一鉢ずつ手作り」で製作する寄せ植えには、同じ説明を聞いても1人1人の感性が作品に表れます。最初は気にならなかった部分が、完成に近づくにつれて、「ここをもう少し…」「やっぱり、ここは…にしよう」といった小さな気づきを積み重ね、個性のあふれる作品になります。

毎年購入を楽しみにして、お問い合わせをいただく方々をはじめ、新聞やTVの報道で関心を持っていただいて、新たにお問い合わせいただく方もありました。

19・20日の販売には、地元の方々をはじめ、福知山市内外の企業の方、また遠方からも三和分校にお越しいただきました。お越しいただいた皆様には、生徒たちから寄せ植えについての説明を聞きながら、お気に入りの作品をお求めいただき、好評のうちに予定数完売となりました。



↑朝日新聞(含・デジタル)・京都新聞・日本農業新聞・両丹日日新聞に掲載いただき、NHK京都・NHK大阪にて放送いただきました。

家政科 須知高校食品科学科とのコラボ実習！

三和分校から京都方面に進むと京都府立須知高等学校に到着します。同じ国道9号線沿いで、自動車なら約30分の距離にあり、食品科学科では野菜の栽培をはじめ食品加工などにも取り組まれています。

1月23日、**須知高校食品科学科乳肉加工専攻3年生と三和分校家政科3年生とのコラボ実習が実現！**しました。この日は、鹿肉を使ったソーセージの加工実習を共同で行いました。須知高校3年生の手慣れた手つきと説明の中、戸惑いながら始まった実習でしたが、説明のひとつひとつ聞きながら、少しずつ役割を分担することができました。



機械で作業する部分と手作業の部分の絶妙なバランスが、おいしく美しいソーセージ作りにつながります。また、三和分校家政科の生徒は日頃の学習を生かし、慣れた手つきでフライパンでの試食品の調理にも協力しました。

今回、生徒同士は初対面でしたが、交流を通して打ち解け合い、実習後には和気あいあいとした笑顔が広がりました。これからも様々な取組で連携し、後輩にも受け継いでいきたいと思っております。

須知高校の皆さんご協力ありがとうございました。